

公安委員会会議録

| | |
|------|--|
| 開催日時 | 自 午後 0時45分 令和6年4月24日(水) 至 午後 2時58分 |
| 開催場所 | 山口県警察本部公安委員会室、同公安委員室 |
| 出席者 | 公安委員 弘永委員長 大田委員 今村委員 |

第1 審議概要

本部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、首席監察官及び情報通信部通信庶務課長同席の上、下記の報告を受けた。

1 外国語版の運転免許学科試験問題の拡充

交通部長から、

自動車運送業界におけるドライバーの労働時間の問題、いわゆる「2024年問題」への対応のため、政府は人手不足の解消を視野に「特定技能」の対象分野に、自動車運送業を追加する方針であることを踏まえ、山口県で現在運用している運転免許の各種学科試験問題に新たな外国語を導入することで、より多くの外国人が、円滑に学科試験を受験できる環境を構築する。

令和6年4月30日から実施となる。

(1) 導入言語及び免許種別

- 英語の第二種免許

タクシーやバスなどを運転するための第二種免許を英語で取得できるようにした。これは全国で26都道県が対応しようとしている。

- インドネシア語及びネパール語の第一種(原付含む)免許及び仮免許

インドネシア及びネパールを母国語とする受験者数が増加傾向であることから実施する。

ネパール語は山口県が3県目、インドネシア語は全国初の取組である。

(2) 現在の運用状況

第一種免許(原付含む)については、英語・中国語・ベトナム語の運用を既に開始しており、英語、ベトナム語の受験が多い状況にある。

社会情勢は常に変化しているので、今後とも、実態に応じて言語を増やしていくなどしたいと考えている。

旨の説明があった。

大田委員から、「外国人の増加を身近に感じている。日本で外国人が生活していくうえで、運転免許の重要性は感じているので、外国語版の運転免許学科試験について、他県に先駆けて取り組むのは、よいことである。今後は必要に応じて、さらなる拡充についても検討して行ってほしい。」旨の発言があった。

今村委員から、「特定技能に自動車運送業が追加されたことも踏まえ、いわゆる2024年問題の影響は大きいと感じている。英語の二種免許を導入していない県に

どのような傾向があるか。」旨の発言があり、交通部長から、「県の人口規模などを見ても、特定の傾向はみられない。」旨の説明があった。

弘永委員長から、「インドネシア語は全国初、ネパール語は3県目の導入ということで、先手先手を打っていることについて、評価している。他県に先駆けて推進することに、きっかけはあるのか。」旨の発言があり、交通部長から、「業界からの要望を受け実現した、外国語版の運転免許学科試験問題を作るにあたり、当県の通訳担当者の協力も大きかった。」旨の説明があった。

2 令和6年度山口県警察管区機動隊員指名式の実施

警備部長から、

4月18日、警察学校において指名式を実施した。その目的は、新隊員に対する隊員としての意識付け、健全な部隊運営の確立及び集団警備力の維持・向上である。新規指名隊員は、中隊長伝令以下40人である。

山口県警察管区機動隊は昭和44年に発足し、通常、隊員は県下の警察署でパトカー乗車業務を行っている。

(1) 指名式の目的

平均年齢が22歳未満、拝命後3年未満の隊員が多いことから、若手特有の思考や、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世代であることを踏まえ、次のとおり教養を重視していく。

- ア 管区機動隊員としての意識付け
- イ 精強で健全な部隊運営の確立
- ウ 集団警備力の維持・向上

(2) 教養

- ア 新隊員に対する警備部長訓育
- イ 惨事ストレス対策教養

令和6年能登半島地震などでは、複数のご遺体を目の当たりにするなど、惨事ストレスを受ける可能性があるので、保健師によるストレス対策教養を実施

- ウ ハラスメント防止等の各種教養

(3) 昨年度の活動状況

- ア G7広島サミットに伴う警戒警備(岩国)
- イ 秋篠宮皇嗣殿下お成りに伴う警衛警備(宇部)
- ウ 天皇皇后両陛下 行幸啓警衛警備(岩手、鹿児島、石川)
- エ 沖縄全戦没者追悼式典に伴う警戒警備(沖縄)
- オ 令和6年能登半島地震に伴う災害警備(石川)

(4) 今後の方針

- ア 県内外での警備実施や地震等の災害に即応できるよう、部隊対処能力の向上を目的とした訓練を継続
- イ 警察官としての現場執行力強化に向けた教養訓練を推進
- ウ 若手の特性に応じた非違事案防止教養を推進

旨の説明があった。

大田委員から、「若い隊員が多いようであるが、若手の特性を踏まえた指導をし、任期の2年間を健全に過ごせるようにしてほしい。任期終了後は、それぞれがその後の配属先で活躍するため、教育して行ってほしい。」旨の発言があった。

今村委員から、「平均22歳以下とのことで、社会的にも成熟していない可能性のある年齢である。新型コロナウイルス感染症の影響を多く受けた世代であり、今までの若

者とは違った特性を持っている可能性もあるので注意が必要である。ところで、女性の隊員はいるのか。」旨の発言があり、警備部長から、「山口県警察管区機動隊員には、女性の隊員はいない。しかしながら、女性機動隊といった別の部隊を設けており、女性が主体となる活動に配慮している。」旨の説明があった。

本部長から、「女性の隊員を管区機動隊に配置するには、男性隊員と行動する際に、トイレなどの設備・ハード面で予算の問題もあるので、総合的に判断していく必要がある。」旨の説明があった。

弘永委員長から、「若い隊員がストレスの多い現場で活躍されていると知った。必要な業務であるので、その意義や住民等の感謝の気持ちなどに接する機会が増えると、モチベーションを上げる意味でもよいと考えている。引き続き若い隊員の教育をよろしく願います。」旨の発言があった。

第2 決裁・報告

課長等から下記のとおり説明を受け、決裁を行うなどした。

1 決裁概要

(1) 運転免許の行政処分

運転管理課長から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞への出席者4人からの聴取結果について報告を受けるとともに、処分理由等の説明を受けた後、審査の上で処分を決定した。欠席者15人については、運転管理課長から処分理由等の説明を受けた後、審査の上で処分を決定し、他4人については、再呼出しとした。

(2) 次回開催する意見の聴取・聴聞の主宰者指名

運転管理課長から、令和6年5月8日に開催する意見の聴取・聴聞における主宰者の指名について説明を受け、決裁した。

(3) 運転免許関係事務委託の公示

運転免許課長から、令和6年度運転免許関係事務委託の公示について説明を受け、決裁した。

(4) 警察職員の派遣に係る援助要求

自動車警ら隊長から、石川県公安委員会からの令和6年能登半島地震に伴う部隊派遣に係る援助要求に関し、派遣期間等の説明を受け、決裁した。

(5) 苦情の申出に対する調査結果及び回答

地域企画課長から、3月27日に受理の報告を受けた公安委員会宛ての苦情の申出について、調査結果の説明を受け、回答文を決裁した。

(6) 審査請求に係る資料の閲覧請求

交通規制課長から、10月5日に受理の報告を受けた審査請求について、対応方針を決定し、審査請求人に対して開示可能物件を閲覧する旨の説明を受け、決裁した。

(7) 審査請求に係る公文書の提示依頼

警察県民課長から、令和5年3月6日付けで警察本部長が行った処分に対する審査請求について、山口県情報公開・個人情報保護審査会から公安委員会に対し公文書の提示依頼があった旨の説明を受け、決裁した。

(8) 犯罪被害者等給付金の申請取下

警察県民課長から、4月14日に受け付けた犯罪被害者等給付金の申請の取下げについて報告を受け、決裁した。

2 報告概要

(1) 山口県公安委員会事務の専決状況

運転管理課長から、3月中の運転管理課関係の山口県公安委員会事務の専決状況について、運転免許課長から、3月中の運転免許課関係の山口県公安委員会事務の専決状況について、交通企画課長から、3月中の交通企画課関係の山口県公安委員会事務の専決状況について、生活安全企画課次長から、3月中の生活安全企画課関係の山口県公安委員会事務の専決状況について、交通規制課長から、3月中の交通規制課関係の山口県公安委員会事務の専決状況について、それぞれ報告を受けた。

(2) 令和5年度下半期の会計監査実施結果

会計監査官から、令和5年度下半期における会計監査の実施結果について報告を受けた。

(3) 下関警察署安岡交番開所式の実施

地域企画課長から、4月25日に実施される下関警察署安岡交番開所式について説明を受けた。

(4) 令和6年春の勲章伝達式の実施

監察官室長から、5月8日に実施される令和6年春の勲章伝達式について説明を受けた。

(5) 永年勤続並びに優良警察職員表彰式の開催

監察官室長から、5月30日に開催される永年勤続並びに優良警察職員表彰式について説明を受けた。

第3 協議

今後の公安委員会における運営について協議した。

第4 その他

第2の1の(8)は、弘永委員長及び今村委員により決裁した。